個別の保健事業の検討事項

資料２

特定健康診査事業		
項目	**検討項目**	**具体的な内容**
特定健康診査事業 **p. 9**	結果説明会の活用	参加者が少なく費用対効果が得にくいため廃止を検討（廃止時期をR9年度かR10年度とするか）。 ※⑦ポピュレーションアプローチ事業の基準にも関連。
特定保健指導事業		
特定保健指導事業 **p.13**	未利用者への利用勧奨・利用しやすい環境整備	実施率が目標（充足値）を超えているため、目標値の上方修正として29％（全国平均）を検討。
糖尿病性腎症重症化予防事業		
項目	**検討項目**	**具体的な内容**
糖尿病性腎症重症化予防事業 **p .25**	未治療者への勧奨及びコントロール不良者への保健指導	透析導入患者数が多いことから、糖尿病性腎症重症化予防事業のコントロール不良者の保健指導を令和９年度より開始予定。アウトプットにコントロール不良者の保健指導修了者数を指標として追加し、目標値20人を検討。
ポピュレーションアプローチ事業（高血圧・糖尿病・脂質異常症の予防）		
項目	**検討項目**	**具体的な内容**
ポプレーションアプローチ事業（高血圧・糖尿病・脂質異常症の予防） **p.33**	周知・啓発の徹底	アウトプットとして結果説明会の参加人数を指標としている。結果説明会廃止に伴い、受診券同封チラシにより周知啓発実施率を指標として、目標値を95％を検討。
ポピュレーションアプローチ事業（介護予防・一体的実施）		
項目	**検討項目**	**具体的な内容**
介護予防 **p.37**	アウトプット・アウトカム指標と目的の変更	・目的である「要支援・要介護者数の増加抑制」は、高齢者数が増加しており、今後も減少の兆しがない状況であるため、「適切な介護予防の知識を身につける高齢者が増える」に変更を検討。 ・アウトカムを「介護予防教室の参加者数」として、目標値を1750名へ変更を検討。 ・アウトプット「介護予防教室（口腔）」を「介護予防教室」に変更検討。口腔だけでなく運動、認知症等のあらゆるテーマで介護予防教室を開催しているため。
一体的実施 **p.37**	アウトカム指標・目的の変更	・目的を「フレイル予防の正しい知識を身につける高齢者が増える」に変更を検討。 ・アウトカムを「フレイル予防に対する理解度の向上」に変更を検討。アンケート回答者のうち、「フレイルの理解が深まったか？」に「はい」と回答したものを計上します。

がん検診事業及びポピュレーションアプローチ事業		
項目	**検討項目**	**具体的な内容**
がん検診事業及びポピュレーションアプローチ事業 **p.41**	がん検診のアウトカム指標の変更	・アウトカムの「各種がん検診の受診率向上」から「各種がん検診の受診率（大阪府平均）」に変更。 胃がん：　R4年度　1.9　　R5年度　1.7　R6年度　1.6（府平均3.2　42位） 子宮がん：R4年度　9.8　　R5年度　8.3　R6年度　7.9（府平均12.9　43位） 大腸がん：R4年度　6.7　　R5年度　6.3　R6年度　6.1（府平均7.0　35位） 乳がん：　R4年度　6.1　　R5年度　6.1　R6年度　6.3（府平均10.8　43位） 肺がん：　R4年度　11.8　R5年度　11.6　R6年度　11.2（府平均7.0　9 位） ※R6年度の受診率及び府平均、順位は速報値
	集団健診時の他のがん検診同時実施のアウトプット指標の変更	・R5～R8年度にかけての実施方法変更（乳がん・子宮がん同時実施など枠数拡大）に伴う評価指標の検討。 　R5年度~R７年度は集団検診時の乳がん検診同時実施を２回、令和８年度は集団検診時の乳がん・子宮がん検診同時実施を２回 　アウトプットを「集団健診時のがん検診同時実施回数：２回以上」に変更。
ジェネリック医薬品普及事業		
項目	**検討項目**	**具体的な内容**
ジェネリック医薬品普及事業 **p.43**	差額通知の発送	差額通知については大阪府の３回以上に基づいて、４回実施をしているが、次年度以降は３回実施を検討。